

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名	老人憩いの家維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	高齢者保険班
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加	所属課	高齢者支援課	担当者名	野口政浩
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進	所属班	高齢者保険班	(内線)	2115
				法令根拠	合志市老人憩の家条例、合志市老人憩の家条例施行規則、合志市老人憩の家運営及び管理規程		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	1	3	1	6	10437			コスト削減優先度評価結果	6*2

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 年度)  期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
老人憩いの家施設(建物、入浴施設、大広間、研修室等)の維持管理を行う事業を指定管理者制度により、社会福祉協議会へ平成18年9月から委託している。委託された社会福祉協議会が、浴槽の掃除、電気保守点検、機械装置の点検等を行っている。補修工事が12万円を超える場合は、高齢者支援課で補修を行い、12万円以下の場合、社会福祉協議会で修理を行う。  
社会福祉協議会から対象金額に達する申請に対し、内容を審査し該当のある場合のみ施設等の修繕を行う。

**【業務の流れ】**  
指定管理者の募集、募集参加説明会、基本協定締結、年度協定締結、管理状況確認業務、指定管理料支払、委託契約の締結、委託料の支払

**【主な予算科目】** 費用 委託料

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 18年8月までは直接管理をしていたが、9月より指定管理者制度により、社会福祉協議会で維持管理を行っている。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成21年9月30日で指定がされるので、6月議会へ再度指定更新のため、議会へ提案予定である。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 老人憩いの家施設 老人憩いの家利用者	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 老人憩いの家施設補修箇所数 箇所数 イ 施設等修理金額 千円
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 不都合なく安全に利用してもらう	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 老人憩いの家利用者の苦情や要望件数 件数 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域に仲間がいる。	⑦ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 施設維持管理上不具合・トラブル件数 件数 イ ⑧ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 老人クラブへの加入者数 人 イ サロンへの参加者数 人

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 ~ 年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		
事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0          0	
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	13,112	12,129	12,720	14,541	13,172	18,078		18,078
	(A) 事業費計	千円	13,112	12,129	12,720	14,541	13,172	18,078		18,078
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	人	1	4	4	3	4	4		4
正規職員従事人数	人									
延べ業務時間	時間	128	32	32	154	32	32	32		
(B) 人件費計	千円	508	127	127	613	127	127	127		
トータルコスト(A)+(B)	千円	13,620	12,256	12,847	15,154	13,299	18,205	18,205		
活動指標	箇所数	4	0	2	2	2	2	2	目 標 合 計 数 計 画  22 年 度	
	千円	515	0	300	300	300	300	300		
対象指標	件数	2	1	0	0	0	0	0		
成果指標	件数	3	1	1	1	1	0	0		
上位成果指標	人	3738	3700	3850	3330	3900	3950	4000		
	人	(4396)8325	4611	(4857)9200	(4700)7854	(5089)9640	(5205)9860	(5300)9950		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
平成6年4月に老人の生きがいと福祉を高め、心身の健全と教養の向上及びレクリエーションのための施設として、老人憩いの家が会館。地方自治法の改正により、平成18年9月から指定管理者制度に移行した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
平成6年4月に老人の生きがいと福祉を高め、心身の健全と教養の向上及びレクリエーションのための施設として、老人憩いの家が会館。地方自治法の改正により、平成18年9月から指定管理者制度に移行した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
指定管理者制度に移行しても、新たな苦情要望等は特にない。

事務事業名	老人憩いの家維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度的事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ <b>意図の施設利用者の利便性・安全を確保することにより、結果の目的に沿って適正に管理され、有効に活用されていることに結びつく。</b>
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ <b>この施設は公の施設であり、目的は老人の生きがいと福祉を高め、心身の健全と教養の向上及びレクリエーションのための施設であるため、市が実施するのは妥当である。</b>
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ <b>老人憩いの家は公の施設であり、事業を実施することは市民の健康増進を図るため必要である。</b>
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ <b>100%維持管理ができています。</b>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ <b>事業が実施できなくなると施設利用者の利便性・安全確保が難しくなる。</b>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <b>施設単位の指定管理であり、統廃合はできない。</b>  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ <b>指定管理者として管理業務を委託しており、原則的に委託期間内に統廃合はできない。</b>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ <b>指定管理者として管理業務を委託しており、原則的に委託期間内に統廃合はできない。</b>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ <b>来館者が利用する施設・備品が対象であるので公平・公正である。</b>

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、予算については、計上方法についての検討が必要。 <b>指定管理制度導入により削減可能である。</b>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上		○																	
	維持低下																			
予算については、計上方法について検討が必要。 <b>最初の指定管理制度の委託料には、管理する人件費が適切な計上ではなかった。</b> <b>平成6年4月1日に開館し14年が経過していることから、空調や施設の改修が必要になっている。</b>																				

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

市と指定管理者との関り方について検討。  
指定管理施設を市が利用する時の優先順位の検討。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )